



# 通信

HP 学校だより  
R5.12.14  
NO.32  
文責 伊藤美佳



## 学びがキャリアへとつながる

8日（金）に6年生が県の「ものづくり魂浸透事業」でトヨタ車体株式会社の技術者の方たちから「ものづくり」のおもしろさを学ぶ機会がありました。

今回の授業では、「てこ」や「滑車」などについて実際に用意してくださった実験器具で体験し、それらを使った「からくり改善」について学びました。「からくり改善」というのは、「電気やモーターを使わず自然のエネルギーを使った人にも環境にも優しい改善」のことです。もちろん、仕事の効率を高めることが目的ですが、SDGsを強く意識した改善方法です。

この授業の前に理科で「てこ」について学んだところだったので、子どもたちは「てこ」を使うことの利点を理解しており、自分たちで「からくり」を説明することができていました。教科の勉強で学んだことが、仕事の改善や仕事のしやすさにつながることを体験できました。

子どもに「なんで勉強しないといけないの？」と聞かれることがあります。その子に「どうしてだと思おう？」と問い返すと、「テストのため？」「将来のため？」と答えてくれます。この授業を受けた子どもたちが、「学んだことが将来の仕事に結びつくんだ。」と実感できてくれたらうれしいです。また、学んだ「からくり」について、説明をしたり、「からくり改善」された機器を動かしたりした時、子どもたちの目が輝く瞬間を目にすることができました。自分が好きなこと、好きなものを実感できることも、将来へとつながります。今回、目を輝かせていた子どもたちが、日本の「ものづくり」の将来を担ってくれることを期待したいです。



## 保護者会 ありがとうございます

11日（月）～13日（水）まで保護者会を行いました。

インフルエンザが猛威を振っている中、学校に足を運んでくださりありがとうございました。子どもたちの成長に欠かせないのは、保護者と学校関係者、そして地域で子どもを見守ってくださっている方々との情報共有と連携だと確信しています。2学期に子どもたちが成長したことを保護者と担任が確認しながら、より成長していくための連携について話し合えたことと思います。今後ともよろしくお願いいたします。